

学校評価から、平成29年度に向けて(7)

校長 小木曾敏樹

「小泉中だより」No.57～No.62に続いて、学校評価についての7号です。

保護者の皆様から回答いただきました調査用紙の自由記述欄のご意見を順次紹介し、校長として学校経営上の貴重なご意見として受け止め、返答をさせていただきます。尚、特定の個人や集団に関わること、紙面に掲載するには不適切な表現などは、一部修正して掲載、または掲載いたしませんので、ご理解ください。また、あまりにもいただいたご意見が多く、全てを掲載できないことをお許し下さい。

【保護者の方の自由記述より】



《学校環境整備などに関わって》

▲しはらく前になりますが、土日のクラブ時に外(テニスコート西側)のトイレを使用したり掃除したりするとき、トイレが汚れている(整っていない)のが気になりました。上の子たちがいる頃(7・8年前)はきれいだったように記憶しています。休日のクラブ活動との連動とも関わってくると思います。クラブの方でも、ここ1年くらい、土日に掃除しています。平日も一度見直していただけたらと思います。

▲駐車場付近の外灯が1つずっとついていないのが気になります。

▲グラウンドの水はけが悪い

~~~~~  
ご指摘、ありがとうございます。外トイレについては、今年は掃除している生徒も頑張っているように思います。卒業生等が土日や夜間に敷地に入り、いろいろ散らかしていくことがありました。掃除については確認したいと思います。

外灯については、市教育委員会に依頼してあります。学校の敷地内ではありますが、学校では取り替えることができません。

グラウンドの水はけの悪さについては、職員も困っております。特にテニスコートとソフトボールの場所は水はけが悪く、砂を入れても側溝に流るだけで水は引いていきません。改善するには掘り起こして排水管を埋めるなどの工事が必要になります。市に要望はしていますが、校舎改築、耐震化工事など、各種教育設備などと比較した時、子供たちの安全や学習環境の方が優先されると思います。継続して要望はしていきたいと思います。

現在、教室が不足、会議室を少人数指導教室として使用していますが、年度末に教材室を教室に改装します。特別支援学級が増えることから、その教室も設置します。来年度は、校舎の壁面の耐震工事(壁が落ちないように)が行なわれます。

その他、市に要望しているのは、教室の照明の増設、トイレの改装と洋式便座の設置、駐車場の拡充、グラウンドへの車用入り口の増設、築山の撤去、各フロアへのテレビ設置、タブレット等ICTの充実、防犯カメラの設置、放送設備の交換、体育大会・集会用の移動放送システムの配置などです。生徒たちにとってよりよい学習環境を整備するために、今後も要望はしていきます。

ちなみに、エアコンについては、市内全小中学校の全教室に設置した場合、電気代やメンテナンスなどのランニングコストは、毎年何億円という単位で必要になるそうです。これはかなり難しそうですね。

## 《生徒手作り弁当の日に関わって》

○手作り弁当は兄弟とも全く手を出さず取り組んできている。できあがりや手際など気になることはたくさんあるが、3年とおすとずいぶん良くなる。高校に入った後、弁当が作れないとき、自分で作っていたり、朝食などを準備したりした。その点から継続を強く希望します。

▲手作り弁当についてですが、手作り弁当を行う意味を再度生徒父兄に説明していただけたらと思います。自分で弁当を作らなければ！というストレスを我が家の子供は感じている様子です。何とか自分で作れるよう頑張っていますが、楽しく！の感情がもてていないと思います。親さんが全て作って持たせているという話も度々聞きます。本来の目的を再認識する必要があるのではないのでしょうか。ご検討のほどよろしく願いいたします。とはいえ、我が家の子供は、学校大好き、学校が楽しいと毎日登校しております。先生方の指導に日々感謝しております。

▲手作り弁当は、素直に作っている子供もいるが、親が当然の様に作っている家庭も多いようです。やる意味はないと思います。

▲手作り弁当の日は、行事の予備日などで給食がない日などのみで十分だと思います。弁当を作るために早く起き、日中眠たくなるようでは学業にさしつかえる。給食がある日は給食をたべさせてあげてほしいです。

▲手作り弁当は不要だと思います。

▲手作り弁当がなぜあるのか理解していない様な気がするのではなくてもいいような気がします。

▲お弁当の日など、何のために行っているのか、親に説明もなく、月に1回行われるのでどんな目的かわからない。



生徒手作り弁当の日については、昨年度も多くのご意見をいただいております。食育という観点からも、生きる力という観点からも、良い取組だとは思いますが、来年度からは、学校としては行なわない、または大幅な縮小の方向で考えています。一生懸命取り組んでいる生徒もいる中で、廃止・縮小は心が痛むわけですが、行事の精選という観点からもその方向で進めています。全生徒が共通に取組めるものではなく、各ご家庭での援助を期待しなくてはならないものです。生徒の努力だけではできないこともあり、精選の対象としました。

ご家庭では是非、今後も生徒と一緒にご飯を作るなど、家庭教育の一環として取り組んでいけると、家族のふれあいにもなり、いいのではないのでしょうか。

## 《その他》

▲親が家にいなくて食事の取れていない子がいるとか、学校に出てきてなかったり、研修に行かなかった子がいるとか、学校はどう思っているのか。引き落としの出来ていない家の支払いとかはどう考えているのか。

▲学校の方針がよく変更になり、子どもも親も理解しがたい。(朝部活を始めたりなくなったり、修学旅行先の急な変更など)

生徒の個々の問題、家庭状況についてはお答えできません。市教育委員会、市の福祉課、スクールカウンセラー、相談員、スクールソーシャルワーカー、医療等、関係機関と連携を図り、必要な手立ては講じています。軸足は生徒の成長と生徒の幸福です。これが学校としての思いであり考えです。個人情報保護の観点から、この程度しかお答えできません。心配な生徒・家庭がありましたら、学校、市教育委員会、地区民生委員さん等にお知らせ下さい。

学校の方針がよく変更になるということはありません。校長が代われればいくらかは変わるかと思いますが、基本的には学校教育目標の実現に向けて同一路線だと思います。朝部活の数年ぶりの再開、長崎研修への変更は、生徒にとってより良い教育の提供と考え行なった方法です。冬期の朝部活がないのは、冬期は朝学習を行なっているからです。学力、体力、社会力、強い心・・・、生徒たちに付けたい力をどのような方法で付けていくか？ ベストな方法などありません。だから私たちも、生徒の実態を考えながら、毎年、試行錯誤を繰り返しています。ご理解下さい。